

作成日:2025年6月21日

学校法人 神戸滋慶学園 神戸製菓専門学校
2025年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

議事録作成者:波連 良子

1. 開催日時 2025年6月21日(土) 13:00～14:30
2. 開催場所 神戸製菓専門学校 3階 PC ルーム(ZOOM 含む)
3. 出席者

学校関係者評価委員

高杉 良和 業界関係者(一般社団法人兵庫県洋菓子協会 監事)
井筒 英治 業界関係者(兵庫県パン商工組合 理事長 株式会社イスズベーカリー会長)
島 誠一 地域関係者
(ANAクラウンプラザホテル神戸 セールスアンドマーケティング部営業部長)
高橋 静代 保護者代表
中津 亮 卒業生代表
※欠席者 (※別日にて委員会と同じ説明をし、評価をいただく。)
西村 欣祐 業界関係者(兵庫県菓子工業組合理事長、株式会社西村清月堂会長)
五味 仁志 高等学校関係者(兵庫県立須磨友が丘高等学校 元校長)

学校側出席者

川口 延子	神戸製菓専門学校	校長
黒田 尚子	神戸製菓専門学校	事務局次長
才田 宗二	神戸製菓専門学校	顧問
松田 慎介	神戸製菓専門学校	教務部長
波連 良子	神戸製菓専門学校	事務局主任

4. 会議の概要

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員の紹介
- (3) 2024年度自己点検・自己評価結果報告
- (4) 意見・感想

5. 会議の内容

- (1)川口校長挨拶

コロナ禍が一段落し各種行事ご多用な中、委員の皆様方には神戸製菓専門学校「学校関係者評価委員会」にご出席頂きありがとうございます。さて、日本の先行き不透明感に歯止めがかかりません。最も懸念されるのは人口減少です。人口動態統計によると令和6年の出生数が過去最低、初めて70万人を割りました。出生数は若年人口や生産年齢人口に直結する数字です。それを踏まえ2040年頃に到来するといわれる「8がけ社会」に向けそれぞれの業界において、真価を問われる時代に突入したといわれています。今後神戸製菓専門学校は高等教育機関としてどう魅力を打ち出し専門職を育成できるのか、学校関係者評価委員の皆様から忌憚のない意見を拝聴し、学校運営に反映したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(2)委員の紹介(才田)

委員の方をご紹介します。

卒業生代表:中津 亮 様

保護者代表:高橋 静代 様

近隣関係者代表:島 誠一 様

業界代表:高杉 良和様

業界代表:井筒 英治様

本日はご欠席ですが、高等学校関係者代表の五味 仁志様、業界代表の西村 欣祐様です。

(3)2024年度自己点検評価・自己点検評価結果報告(才田)

それでは昨年度の自己点検についての説明をさせていただきます。学校運営にあたり、大切にしていることはミッションと教育理念です。これを基に、毎年11月に事業計画を作成しております。

2024年度実施いたしました自己点検・自己評価内容、下記10項目について説明いたします。

- 1.教育理念・目的・育成人材像
- 2.学校運営
- 3.教育活動
- 4.学修成果
- 5.学生支援
- 6.教育環境
- 7.学生の募集と受け入れ
- 8.財務
- 9.法令等の遵守
- 10.社会貢献・地域貢献

以上、10項目の内容を説明し、委員に評価を行って頂いた。

(4)意見・感想

- ・高杉委員:毎年学生さんは違うと思います。実習では率先して班を引っ張るリーダー的な存在がいるのですが、最近はこのリーダー的な存在の学生がいなくなっているように思います。
- ・井筒委員:最近の若者の傾向として、集中してやる時と少し肩の荷を下ろす等のメリハリがうまく出ていない人が多くなっているように思います。
- ・島委員:学校運営は適切であり、教職員の方も教育にしっかりと取り組まれていると思います。

- ・中津委員:自発的に行動する人が少なくなっているように感じています。まずは目配り、気配りなど自分で出来るようになることが大切だと思います。
- ・高橋委員:保護者の窓口として担任の先生や事務局の方が対応して下さっているので安心していきます。できましたら入学時だけでなく2年生の年間スケジュールも頂けると有難いです。
- ・川口:本日は有難うございました。
- ・才田:次回委員会は、来年2月を予定しております。あらためてご案内申し上げます。
本日はありがとうございました。